

はじめに

夏至の頃、立石（夫婦岩）の間から朝日が昇る二見浦は、日の出の名所として全国的に知られております。

古くは「清き渚」と歌われ、神宮の禊の場の役割を果たし、近代以降は全国初の海水浴場の開設で、国内有数の保養地として人々に親しまれてまいりました。

二千年余の歴史を有し、日本人の心のふるさとと称される神宮とともに、二見浦の情景もまた、日本人の心の風景として生き続けております。

そして、平成18年7月28日、二見浦が国の名勝として指定されたことにより、その文化的価値を再認識し、将来にわたって適切に保存管理するための基本方針として、この『名勝二見浦保存管理計画』を策定いたしました。

今後は、本計画に基づき名勝構成要素の規制・保護を行ないつつ、名勝の魅力を高める整備・活用を図り、二見浦を次世代へ継承してまいりたいと考えておりますので、御理解と御協力の程よろしくお願い申し上げます。

本計画の策定に際しては、文化庁文化財部記念物課（名勝部門）及び三重県教育委員会事務局社会教育・文化財保護室に御指導・御助言を賜り、名勝二見浦保存管理計画策定委員会及び同協力者連絡会の皆様に御協力を賜りました。厚くお礼を申し上げ、結びとさせていただきます。

平成22年3月

伊勢市教育委員会教育長 宮崎 吉博